

2014
6/28

ローマ法王に
米を食べさせた男

「過疎の村から世界のマーケットへ」

高野誠鮮氏

立正大学校友会報 編集 電話 03(3493)6673

平成26年度 **大学同窓会定期総会**
校友会主催記念講演会を開催

6月28日(土)に熊谷キャンパス ゲートプラザ 1101教室にて『平成26年度立正大学同窓会定期総会』が開催されました。当日は、校友会主催による記念講演会を開催し、高野誠鮮氏(立正大学客員教授・羽咋市教育委員会文化財室室長・歴史民俗資料館館長、日蓮宗・本證山妙法寺第41世住職)による『ローマ法王に米を食べさせた男～過疎の村から世界のマーケットへ～』と題して講演をしていただきました。また、在校生と卒業生等の交流を図る場として学生食堂ステラで懇親会を開催いたしました。記念講演会の詳細は次号(10月1日発行)でお伝えいたします。

立正大学校友会報
たちばな
TACHIBANA
No.22 2014.7.1

発行者 ●立正大学校友会
〒141-8602 東京都品川区大崎 4-2-16

発行人 ●山崎 和海

編集 ●立正大学学長室校友課

電話 ●03 (3493) 6673

ホームページ ●http://alumni.rissho.jp/

平成26年度校友の集い
立正大学ホームカミングデーに向けて



立正大学長・立正大学校友会会長 山崎和海
立正大学は、今年開校142年目を迎えた古い歴史と伝統を有し、校友は13万人を超える総合大学です。しかし、その発展の道程は平坦なものばかりではありませんでした。戦後の1952年に、日本のケインズと称された石橋湛山先生をお招きし、仏教学部文学部の「人文科学系」に留まらない、経済・経営・法学という「社会科学系」の学問分野へと裾野を拓く基盤が整備されました。そして、仏教学部としていち早く文系総合大学への道のりを辿り、現在は社会学部、地球環境科学部、そして心理学部を加え、8学部15学科・7研究科で構成された学生数が1万人を超える「人間・社会・地球に関する総合大学」へと発展しております。

本学は人間に視点を置き、「個々人」「人と人との関係」、我々のいる「場(社会)」、それも日本にこだわらない重層化した、同時にネットワークで繋がった社会や組織、国々、さらにグローバルな世界観から物事を捉えていくといった学問体系の中にあります。社会環境の厳しいなか、昨年3月に立正大学付属中学・高等学校を馬込キャンパスに移転し、今年の4月より、法学部の履修地を年次毎に品川キャンパス(大崎キャンパスから改称)に変更しました。これらの移転・変更のため、品川キャンパスの再整備(学生サービス部局の移転、古書資料館、中庭、300席以上ある第2食堂等々)を順次進めております。今年度も昨年度に続き、再整備中の品川キャンパスにおいて、同窓生同士の交流や母校関係者皆様同士の交流を促進することを狙いとして、在学生

で賑わう橘花祭の期間(11月2日)に、校友会主催の「立正大学ホームカミングデー」を開催することにいたしました。

大学4年間を淡々と過ごされた方々の一方で、在学中、必死で勉強したり、レポートに四苦八苦したり、また課外活動に打ち込んだり、様々な形で青春を謳歌された同窓生の方々も多いいと思います。母校の思い出は人それぞれだと思いますが、ホームカミングデーは全ての卒業生の皆さんと母校とを繋ぐ一日です。

現在、鋭意プログラムを編成中ですが、昨年度と同様に、当日は後輩の在校生が温かく皆さんをお迎えします。また、学生の催しをはじめ、校友会・同窓会等の各種催しとともに、大学関係者による大学の方針説明や学部の現況報告等も予定しております。母校のキャンパスで一日を過ごし、久しぶりに学生気分を味わいながら、オール立正の人的ネットワークの輪を楽しみ、明日に想いを馳せていただければ幸いです。

校友の皆さんの傍らには立正大学の縁や絆が、そして母校の歩みと思いに裏付けられた「立正精神が結ぶ人的ネットワーク」があります。校友会としても、この縁と絆を大切に育んでいきたいと考えております。

変貌を遂げつつある母校の品川キャンパス見学も兼ね、ぜひお誘いあわせのうえ、またお一人でもお気軽に、ご参加ください。大勢の方々のご参加をお待ち申し上げております。



◆平成26年度「立正大学」ホームカミングデー in 橘花祭開催について

【1】開催趣旨

◆卒業生一同が品川キャンパスで集える場所を確保することで、世代をまたぐ形の懇親・懇談を可能とする。

◆「校友の集い」を学生の集う機会である大学祭(橘花祭)期間中に開催し、卒業生と学生との交流並びに帰属意識を高めることを模索する。

◆同窓会事務局長会議を当日開催し、全国からの同窓生の参加を促し、校友活動の活性化を図る。

◆学生、卒業生が一緒に取り組める企画を模索し、「橘花祭」を盛り立てる。

◆立正大学と同窓会の協力のもと、「校友の集い」に地域企業の参加を促し、現役学生との接点を模索する。

【2】開催日について

◆11月2日(日)に品川キャンパス「橘花祭」と同時開催

【3】開催内容について

◆卒業後10・20・30・40・50年の卒業生を招待し、記念品の贈呈

◆名譽教授による記念講演会

◆久保田雅人氏(本学卒業生、NHK Eテレ「つくってあそび」(子供向け工作番組)出演)によるワクワクさんショー

◆卒業生の落語家による「立笑(正)点

◆「ホームカミングデー in 橘花祭」懇親会

◆懇親会場での課外活動団体等によるアトラクション

◆立正大学の歴史パネルの展示

◆品川キャンパスツアー

◆立正大学説明会

◆古書資料館見学ツアー

◆「立正マルシェ」として同窓会、大崎・五反田商店街及び周辺企業参加による物販・展示・相談コーナーならびに東北復興支援のための地元グルメブースの設置

◆立正大学出身の在職教員の方々

【4】タイムスケジュール

11月2日(日)
午前 ◆同窓会事務局長会議
◆名譽教授講演会
◆在職教員懇談会
◆ワクワクさんショー
午後 ◆「校友の集い」記念懇親会
◆「立笑(正)点」
◆立正大学公開講座
◆立正マルシェ
終日 ◆品川キャンパスツアー
◆立正大学紹介コーナー
◆古書資料館見学ツアー

【5】参加人数

◆同窓会事務局長・約100名
◆名譽教授・その他の卒業生・近隣住民・未確定



講師の話に真剣に聴き入る記念講演参加者の皆さん



同窓会による地方物産展ではバラエティに富んだ品物が並び



ホームカミングデーのメイン会場となる品川キャンパス学生広場
※写真は平成25年度のものです。



元 社団法人日本野球機構セントラル野球連盟審判員
現 公益社団法人全国野球振興会審判技術委員 / 調布市少年野球連盟審判部顧問
調布市少年野球連盟調布メンバーズ顧問 / エバーグリーン審判協会副部長
JCOMカップ決勝大会審判顧問 / 全国ロータリークラブ野球大会審判顧問

篠宮慎一さん 仏教学部仏教学科卒業 素晴らしき我が野球人生

篠宮慎一(しのみや しんいち)さん

1958年12月生まれ。東京都出身。幼少から野球を始め、東京高野連、首都大学野球連盟の公認審判を経て、プロ野球セントラル・リーグ審判となる。在籍期間1982年～1997年。実働16年間。

現在は都内会社員の傍ら、アマチュア野球界の発展に尽力している。

※講演活動、審判講習会を全国展開しております。詳細は校友会までご連絡下さい。



1996年10月25日
ワールドシリーズ見学 ヤンキーススタジアム前にて

素晴らしき我が野球人生

1997年9月28日、横浜スタジアム横浜対広島最終戦3塁審判が私のプロ野球審判としての最後のゲームでした。

この年持病の腰痛が悪化し、1軍には、定着せず2軍が多く、リーグからこの試合の担当との連絡があった時、自分でも最後と感じました。試合が終了し審判室へ戻った瞬間「終わったな・」と実感しました。同僚が帰り、最後に審判室を出る時ロッカールームの名札を抜き取り「ゴミ箱へ捨てました。もう二度とこの部屋には戻れないと・」。

やはり腰痛悪化で正確な判定が困難と判断され、この年で解雇。在籍16年間、今思えば「あつ」という間の出来事を感じられます。幼少から始めた野球、リトルリーグ、シニアリーグ、高校と硬式野球を9年間プレーしておりました。大学レベルではないと。母校の監督に立正大学入学報告し、野球を続ける意志がない旨を伝えると「篠宮！東京高野連の審判がたりないからやれ！」この一言で審判を始めるきっかけとなりました。翌週、母校の練習試合から先輩の指導を受けジャッジしてみると、別の角度から野球を体験でき、とてもおもしろいと感じました。

立正大学の4年間は学業と審判に明け暮れる日々で私の人生の中で一番充実していたかもしれません。

大学入学時に私は目標があり、教員免許を習得し高校で野球の指導者になる事。しかし、3年次首都大学野球連盟から公認審判として採用され、また社会人野球まで審判することで目標は野球の頂点、プロ野球審判へ変更です。運良く、4年次の12月にセントラル・リーグが一般公募するとスポーツ新聞に記載。即受験しましたが、2/350で不合格。ここでプロ野球審判を諦めアマチュアで甲子園大会出場を目指し趣味として審判を続ける事に決

めました。

教員試験は不合格でしたが、国家公務員として生活をスタートした2ヶ月後、なんとセントラル・リーグから連絡があり繰り下げ採用。天にも昇る気持ちで、1982年7月プロ野球セントラル・リーグ審判員の契約を結びました。(個人事業主)

プロ審判員も選手と同様の1年契約。年俸を12月で割り毎月給与は振り込まれます。契約更新では選手並みのアップはなく、新人審判はかなり生活が厳しいのが現状です。(現在はかなり改善されているようです)

プロ審判に採用されてもすぐに、1軍の試合を担当しません。最初は2軍で約10年経験し1軍へ抜擢されるのが普通でした。

アマチュアから入った私がビックリしたのは、やはり2軍といえども「スピード」と「プレッシャー」でした。アマに比べるとプロは打球、送球、打球、走塁の早さが数段上です。また、今まで野次などなかった環境で審判して

おりましたが、プロは高卒の新人までが強烈な野次を飛ばします。監督の抗議も罵詈雑言が多く、そんな環境が当時のプロ野球界の常識でした。

アマ経験ある私は1ヶ月の研修後すぐに2軍戦へ出場。初めての試合で大きなトラブルが発生しました。今は無き読売ジャイアンツの多摩川グラウンドで2軍の公式戦、読売対大洋(現横浜DeNA)2塁審判を担当した時の事です。走者1塁、1アウト、打者はシヨートゴロを打ち、6-4-1-3とダブルプレーが成立かと思った瞬間、2塁ベースカバーに入った2塁手が送球を捕ると同時に落球。私は、それよりも2塁手が2塁ベースに触ってないと判断し「セーフ」のジャッジ。プロは

1塁走者が2塁に入った野手がけてスライディングしてきます。よって野手もそれを避けながら送球する高度な

テクニクが必要なのです。私の判定はまさに落球と同時だったので、監督・コーチがベンチから飛び出して囲まれました。

こんな体験は初めてでとても怖かったです。

その時、不利になった監督から罵詈雑言をあげられました。

気がつく先輩審判が集まってくれ、監督・コーチの抗議を受け付けて、私は蚊帳の外でした。プロ野球はヤクザの世界か？とも思いました。

もしかしたら、これが初審判のプロからの洗礼だったのかもしれない？

念願がなかったプロ野球審判、2軍生活を脱却したく、どうしても1軍の試合を担当したいと努力を重ねました。

その機会は意外と早く来て(準レギュラー)1985年4月神宮球場でのヤクルト対広島戦右翼外野審判として1軍デビューしました。(現在は4人制審判で外野審判はレギュラーシーズン

はありません)カクテル光線のもとナイトゲームも始めて両足の震えを抑えるのに精一杯だったのが思い出されます。

右翼外野審判はセンターからライトポール際までの外野すべての判定を委ねられます。デビュー戦でどうか何事もなく終了してくれと天に願っておりましたが、なんとライトポール上空をまく打球が飛んできたのです。ヤクルト4番打者杉浦選手の打球だったのです。心臓は高鳴り続け、ポール上空の打球をしっかりと見ました。なんと

真っ黒な空に真っ白なボールがスロームーションのように動き、まいていくのが見え右手を大きくグルグルと回してホームランのジェスチャー。これが私の1軍初のジャッジメントでした。その後は2軍で球審を務め、1軍では外審、塁審と担当しておりました。

ようやく1軍の球審が割り当てられたのは、1990年4月のヤクルト対中日戦でした。初年契約から8年の歳月が流れました。

この試合は1軍初球審で今でも鮮明に覚えております。ヤクルト内藤投手、中日アンダーソン投手の投げ合いでスラムズに展開していきました。この時の中日4番が落合選手(現中日GM)で、初打席になんと内藤投手のアウトサイドにストライクゾーンからボールゾーンに落ちるスライダを左中間へ2塁打したので。普通の打者ならラ

イト側へファウルする打球ですが、さすが長距離ヒッターの落合選手。右手首の返しが強烈だったのが印象的でした。また最終打席では、アウトコース低めを見逃し、私は第三ストライクを宣告したとき、「篠、低いぞ」と言い抗議せずベンチへ。自分では自信ある判定でしたが、考えさせられた一言でした。

初球審を終えると、何とも言えぬ開放感に包まれ、マロンランナーが完走した気持ちと同じではないでしょうか。

帰宅すると興奮おさまらずついつい飲酒してしまっ毎日でした。

やはり強靭な精神力が必要とされる仕事だと思えます。

珍プレーその1

そんな16年間のプロ野球審判生活のなかで印象に残っているシーンが初球審の他にありますので紹介いたします。

まず最初が球史に残る珍プレーです。

1987年10月18日、後楽園球場の最終戦(東京ドーム完成の前年)、読売対広島最終戦で私は左翼外野審判を担当しておりました。4回裏読売の攻撃、1死満塁、打者は吉村選手。広島は白

武投手、ここで世にも珍しいプレーが起こったのです。なんとカウントを誤り、4ボール2ストライクから吉村選手は左翼席へホームランを打ったのです。審判員、守備側、攻撃側すべての人が気がつかず、但し二人だけを除いては。その日一人が私でした。(もう一人が公式記録員、但しスタンド上部の記録席から現場審判には伝えることができなかった)この発端は4ボール2ストライクでバックスクリーンの電光掲示板は3ボール2ストライクと誤った表記でした。私も「あれ」と思ったのですが、左翼外野席の広島ファンが「こら篠宮！カウント間違っているだろ！」と叫んだのです。えっ！

やばい！球審までの距離あるし、どうしようと思った瞬間4ボール2ストライクから打ってしまったのです。結局吉村選手のホームランは正当化され広島が5対2で勝ち試合終了。試合後報道陣が押し寄せ緊急ミーティング。さすがの私も真実を言えずしまいました。

珍プレーその2

翌日はなんと連盟事務所へ当該審判員全員出頭命令。リーグ会長から戒告と罰金が言い渡されました。安月給の私にはとても辛かったです！

その次が東京ドームが完成した1988年読売対ヤクルトの試合で起こりました。この試合も私は左翼外野審判を担当しておりました。読売は西本投手、打者はヤクルト角選手、角選手が放った打球は左翼フェンス際へ飛んできました。打球を追って近くまで来た時打球がなくなってしまうました。実はフェンス際のお客様が捕ってしまったのです。私は捕らなくてもオーバーフエンスしたと判断しホームランを宣告しました。抗議もなく試合は終了しましたが、報道陣に囲まれた後記者会見。

審判部長からは余計な事を言っただけ、とアドバイスされ「オーバーフエンスと見ました」この一言だけを告げました。

帰宅しビデオを見ると、お客様の手がフェンスの中に入っていました。

一度下した判定は覆る事はありません

んが、この時程自分の目を疑った事は
ありませんでした。
翌日のスポーツ新聞すべての一面は
「世紀のミスジャッジ篠宮審判」の見
出し。全国のスポーツ新聞を買占めた
かったです！(笑)

今後の活動

米国マイナーリーグ審判留学3回、
米国ワールドシリーズ見学(1996
年ヤンキース対ブレーブス)、キューバ
での親善試合。(広島対キューバナシヨ
ナルチーム)メジャーリーグのオーク
ランドの調整試合担当等の貴重な経験
もありますが、多くの思い出のほとん
どが失敗談です。でも私は野球の最高
峰であるプロ野球界に在籍できたこと
を今でも誇りに思っております。

現在は地元で少年達と楽しく野球と
審判を行っております。彼らを見ると
自分の少年時代が甦ってきます。

今本当に野球の楽しさを知ったかも
しれません。

私にとって野球は解雇時を除けば人
生の素晴らしい伴侶だと思います。

これからもアマチュア野球に恩返し
をしたく、頑張るつもりです。

また、全国のあらゆるスポーツの審
判、レフリーを心から応援いたしま
す。

大学時代の思い出

学食のAランチが懐かしいですね。
安くてボリュームありました！

また五反田駅前の「心」(喫茶店、今
はないですね?)に毎日通いました。

大学来ない友人もここには来ていま
したね。

在校生へのメッセージ

目標、好きな事、夢でもいいです。
それに向かって精一杯努力して下さい。
必ずその成果は報われます。



小森康弘さん 文学部地理学科卒業 水泳を通してみんなが元気で健康に!

小森康弘(こもり やすひろ)さん
1973年2月生まれ。千葉県市川市出身。立正大学文学部地理学科卒業。在学中は体育会水泳部に所属。
卒業後は一般企業に就職。仕事をしながら水泳を続ける。
2004年から千葉県代表として「国民体育大会」に出場。4年連続入賞。2007年にはマスターズ水泳の50m平
泳ぎにおいて30歳区分世界ランキング1位。
5年前に大好きな水泳を教えることを仕事にしたいと前職を退職。子どもから大人まで水泳を通して健康回復、健
康維持をお手伝いする「スイムー礼(いちれい)株式会社」を設立。昨年年齢区分でタイムを競う*マスターズ水
泳競技大会で40歳区分の25m平泳ぎで日本記録を6回更新。現在12秒94の日本記録を保持。



2013年4月7日 日本マスターズ水泳短水路大会
で水泳協会会長賞に輝いた小森さん(愛媛県会場
松山中央公園プールアクアパレットまつやまにて)

水泳の本当の楽しさを 知った大学時代

実はわたくし、中学、高校と水泳部
に所属していましたが大会で入賞する
ようなことはほとんどなく、全国大会
に出ることもありませんでした。それ
でも水泳が好きで大学でも迷わず水泳
部に入部。わたくしは2年生でしたの
で、朝は仕事、昼は水泳の練習、夕方
からは大学の講義と忙しいながらも充
実した日々を送っていました。大学で
は体育会水泳部に所属し、後輩、先輩
たちと日々練習を積んできました。
またありがたいことに地元で昼休みに
プールをお借りして練習をさせていた
だくことができました。当時のプールの
先生は私だけのために練習メニュー
を作成してくれ、毎日練習につき合っ
てくれたのです。そのおかげで大学3
年生の夏に生まれて初めて全国大会
(インターカレッジ)に出場すること
もできました。このとき指導いただ
いた先生のおかげで水泳の魅力と泳ぐ
楽しさを知ることができたとも感謝
の気持ちでいっぱいです。さらに、わ
たくしが入部した1年生の時は関東大
学4部リーグ制の4部だった水泳部も
みんなで力を合わせて切磋琢磨したお
かげで4部優勝、3部昇格と結果を出
し、卒業するときには2部に昇格する
ことができました。その後は後輩たち
の活躍で1部にも昇格しています。(現
在は3部で頑張っています。水泳が好
きな方は是非入部してください！)

生涯スポーツとしての 水泳の魅力伝えたい!

現在わたくしは、大学時代に水泳の
魅力を教えて下さった先生のような柔
しい水泳指導をしたいと日々現場で奮
闘しています。小学生から80歳を超え
る大人の方まで幅広い年齢の方が、泳
げない人は泳げるように、泳げる人は
よりきれいに泳げるように、泳げる人
は...さまざまな目標を持って練習に参

加されています。アドバイスの仕方や
練習メニューを工夫し、それぞれの方
の目標達成のお手伝いができるように
創意工夫する毎日です。幸いなことに
わたくしは指導者でもありながら、競
技者でもあります。新しい練習法や最
新のフォームに自分自身が競技者とし
てチャレンジし、結果が出るかを試し
ています。身をもって試した結果をも
とにその新たな練習方法やテクニック
を指導に反映させています。昨年も日
本記録を更新することができた自分自
身の成果を存分に指導へ生かし、生徒
の皆さんの記録更新のお手伝いのでき
たのではないかと思っています。



自身が競技者としてチャレンジした結果をもとに、新たな練習方法やテクニックを指導に反映

今後の目標と新たな活動

今後の活動として「水泳を生涯ス
ポーツとして生活の一部に取り入れて
ほしい!」そんな思いから水泳普及に
力を注いでいます。具体的には水泳指
導だけではなく、水泳大会を運営して
いきます。
今年9月15日(祝)に千葉県国際総
合水泳場(JR新習志野駅前)のプー
ルをお借りして「第1回千葉県チャレ
ンジカップ(略して「千葉チャレ!」)
を開催致します。
子どもから大人まで誰でも気軽に参
加が出来る大会です。大会のテーマは
「みんなで楽しく泳ぐ!」です。個人
種目はもちろん、さまざまなリレー種
目も準備しました。親子で参加できる
ファミリーリレー、好きな仲間に参加
できるチームリレーなど、和気あいあ
いと楽しんでもらえたいと思います。大
会に申し込むことで「頑張ってる練習し
なくてはい!」と目標が出来るのでない
でしょうか。現在わたくしは第1回大
会が成功するように懸命に準備を進め
ているところです。

マスターズ水泳競技大会とは

マスターズ水泳競技大会は、年齢区
分ごとにタイムを競います。国際的に
は25歳から5歳ごとに年齢が区分され
ますが、日本においては18歳以上から
参加が可能で、18歳から24歳区分、25
歳から29歳区分、以降5歳ごとに区
分されます。現役選手が横行してマス
ターズ大会に出場することもありますが、
過去に水泳競技者であったリタイア
ンスイマーや大人になって水泳を始め
たビギナーズスイマーなどもそれぞれに
目標を設定し自分の能力に応じて競技
を楽しんでいます。先日の大会では

100歳区分の出場者もいらっしゃい
ました。水泳はまさに生涯スポーツで
す!



在校生へのメッセージ

いろいろなことに全力でチャレンジ
をしてほしいですね。大学の4年間は
本当にあつという間に過ぎてしまいま
す。常に前向きで悔いの残らない1日
1日を過ごしてください。あなたのそ
の行動を見て、あなたをフォローして
くれる人が必ず出てくることでしょ
う。感謝を忘れずに一歩ずつ前へ!



立正大学同窓会

会 長 ●野坂法雄
創 立 ●昭和35年(1960)
会 員 数 ●約13万人
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
電 話 ●03(3493)6673
http://alumni.rissoho.jp/

平成26年度 大学同窓会事務局長会議を開催

5月10日(土)に品川キャンパス内会議室にて立正大学同窓会事務局長会議を開催しました。



当日は、平成26年度の校友の集い(ホームカミングデー)に向けてどの様に参加するかについて話し合いがなされました。

平成26年度 大学同窓会代議員会を開催

5月17日(土)に品川キャンパス内会議室にて立正大学同窓会代議員会を開催しました。



当日は、平成25年度事業報告案、収支決算書案、平成26年度事業計画案、収支予算案が承認されました。

平成26年度 大学同窓会定期総会を開催

6月28日(土)に熊谷キャンパスにて、平成26年度立正大学同窓会定期総会・懇親会を開催しました。開催報告の詳細は、次号(10月1日発行)でお伝えいたします。

平成26年度立正大学同窓会収支予算書 (期間:平成26年4月1日~平成27年3月31日)

科目	H26年度予算額	H25年度予算額	差異(増加額)
校友会構成団体助成費	24,500,000	24,500,000	0
在校生終身会費	0	0	0
預金利息金	100,000	150,000	▲50,000
寄付金・雑収入	100,000	1,300,000	▲1,200,000
積立金取崩収入	10,000,000	0	10,000,000
収入計	34,700,000	25,950,000	8,750,000
前年度繰越金	7,178,721	7,071,726	106,995
合計	41,878,721	33,021,726	8,856,995

科目	H26年度予算額	H25年度予算額	差異(増加額)
事業費	28,568,400	20,176,000	8,392,400
事務運営費	9,583,490	10,805,780	▲1,222,290
予備費	1,726,831	39,946	1,686,885
橋積立金	2,000,000	2,000,000	0
支出計	41,878,721	33,021,726	8,856,995
合計	41,878,721	33,021,726	8,856,995

▲印はマイナスの値を表す

平成26年度立正大学同窓会事業計画書 (期間:平成26年4月1日~平成27年3月31日)

事業	摘要
会 議	(1) 定期総会(校友会主催講演会と協働連携開催) …………… 開催日: 6月28日(土) 会 場: 講演会・総会: 熊谷キャンパスゲートプラザ1101教室 懇親会: 学生食堂「ステラ」 内 容: [第1部] 講演会 13:00~14:00 [第2部] 平成26年度定期総会 (短大・保専同窓会と同時開催) 14:30~16:30 [第3部] 合同懇親会 17:00~18:00 (2) 代議員会 ……開催日: 5月17日(土) (3) 理 事 会 ……開催日: 4月19日(土)、7月19日(土) 10月18日(土)、2月28日(土) (4) 監 査 ……開催日: 4月11日(金)(平成25年度決算監査) 11月下旬(平成26年度中間監査) (5) 各種委員会等 1. 総務委員会 ……開催日: 適時 2. 財務委員会 ……開催日: 適時 3. 広報委員会 ……開催日: 適時 4. 事業予算合同会議 ……開催日: 平成27年1月27日(火) 5. 総務・財務・広報正副委員長会議 ……開催日: 適時 6. 事務局長会議 ……開催日: 5月10日(土)、11月2日(日) 7. そ の 他 ……開催日: 適時
同窓会運営・交流促進	(1) 代議員制による同窓会運営 (2) 支部・学部同窓会助成 (3) 支部・学部同窓会の総会・研修会・各種行事等の開催支援協力 (4) 会員親睦・交流・活動への支援協力 (5) 休会支部活動再開支援 (6) 支部同窓会地域連合制の検討 (7) 会則・細則等の改正 (8) その他
大学・学園への賛助と在校生支援	(1) 大学・学園への賛助 大学開校140周年記念事業賛助 (2) 在校生支援(課外活動顕彰助成、校友会との名義協働連携事業による学生支援、学生生活・就職支援を含む) (3) その他
校友会との協働連携事業	(1) 校友の集い(ホームカミングデー)協働連携開催・運営協力 (2) 校友会との協働連携事業による学生支援(学園祭、課外活動、入学・卒業記念品、校友会奨学金 他) *経費の一部を同窓会が負担 (3) 校友会・校友会委員会の運営協働連携参加 (4) 同窓会支部総会・橋会保護者懇談会協働連携開催・運営協力 (5) その他
広報告知	(1) 学園新聞の発送及び校友会報「たちばな」の制作と発送(年4回) *校友会との協働連携事業 *学園新聞制作費は学園負担、発送費の一部は校友会負担、校友会報「たちばな」制作・発送費は全額校友会負担 (2) ホームページ・facebookによるインターネット広報 (3) 本部・支部・学部同窓会主催行事、クラブ・学部学科OB/OG会などの開催支援と広報告知 (4) 会員への各種情報提供サービス (5) その他
会員情報の協働連携利用	(1) 個人情報の保護に関する法律および立正大学個人情報に関する規程に基づく会員情報の適切な収集・管理・運用 (2) 新卒会員情報・既卒会員情報更新の大学・校友会・同窓会協働連携利用(学園新聞・校友会報「たちばな」の発送及び支部・学部同窓会事業・活動への会員データ提供 他) (3) その他

平成25年度立正大学同窓会収支決算報告書 (期間:平成25年4月1日~平成26年3月31日)

科目	当初予算	決算額	差異(当初予算額-決算額)
校友会構成団体助成費	24,500,000	24,500,000	0
在校生終身会費	0	0	0
事業収入	0	69,800	▲69,800
預金利息金	150,000	92,166	57,834
寄付金・雑収入	1,300,000	538,000	762,000
収入計	25,950,000	25,199,966	750,034
前年度繰越金	7,071,726	7,071,726	0
合計	33,021,726	32,271,692	750,034

科目	当初予算	決算額	差異(当初予算額-決算額)
事業費	20,176,000	16,654,335	3,521,665
事務運営費	10,805,780	6,438,636	4,367,144
本部周年事業・定期総会積立金	0	0	0
予備費	39,946	0	39,946
橋積立金	2,000,000	2,000,000	0
支出計	33,021,726	25,092,971	7,928,755
繰越金	0	7,178,721	▲7,178,721
合計	33,021,726	32,271,692	750,034

▲印はマイナスの値を表す

平成25年度立正大学同窓会事業報告書 (期間:平成25年4月1日~平成26年3月31日)

事業	活動摘要
会 議	(1) 定期総会(校友会主催講演会と協働連携開催) …………… 開催日: 6月29日(土) 会 場: 講演会・総会: 大崎キャンパス石橋湛山記念講堂 懇親会: ゆうぼうと 内 容: [第1部] 校友会主催講演会 [第2部] 平成25年度定期総会 [第3部] 懇親会 (2) 代議員会 ……開催日: 5月18日(土)、11月2日(土) (3) 理 事 会 ……開催日: 4月20日(土)、6月15日(土)(臨時) 7月20日(土)、10月19日(土)、平成26年2月22日(土) (4) 監 査 ……開催日: 4月12日(金)(平成24年度決算監査) 12月3日(火)(平成25年度中間監査) (5) 各種委員会等 1. 総務委員会 ……開催日: 4月1日(月)、平成26年1月28日(火) 2. 財務委員会 ……開催日: 4月12日(金)(監査対応)、 12月3日(火)(監査対応) 3. 広報委員会 ……開催日: 4月20日(土)、6月15日(土) 4. 事業予算合同会議 ……開催日: 平成26年1月28日(火) 5. 総務・財務・広報正副委員長会議 ……開催日: 4月20日(土) 6. そ の 他
同窓会運営・交流促進	(1) 代議員制による同窓会運営 (2) 支部・学部同窓会助成 (3) 支部・学部同窓会の総会・研修会・各種行事等の開催支援協力 (4) 会員親睦・交流・活動への支援協力 (5) 休会支部活動再開支援 (6) 支部同窓会地域連合制の検討 (7) 会則・細則等の改正 (8) その他
大学・学園への賛助と在校生支援	(1) 大学・学園への賛助 大学開校140周年記念事業賛助 (2) 在校生支援(課外活動顕彰助成、校友会との名義協働連携事業による学生支援、学生生活・就職支援を含む) (3) その他
校友会との協働連携事業	(1) 校友の集い(ホームカミングデー)協働連携開催・運営協力 (2) 校友会との協働連携事業による学生支援(学園祭、課外活動、入学・卒業記念品、校友会奨学金 他) *経費の一部を同窓会が負担 (3) 校友会・校友会委員会の運営協働連携参加 (4) 同窓会支部総会・橋父兄会父兄懇談会協働連携開催・運営協力 (5) その他
広報告知	(1) 学園新聞の発送及び校友会報「たちばな」の制作と発送(年4回) *校友会との協働連携事業 *学園新聞制作費は学園負担、発送費の一部は校友会負担、校友会報「たちばな」制作・発送費は全額校友会負担 (2) ホームページ・facebookによるインターネット広報 (3) 本部・支部・学部同窓会主催行事、クラブ・学部学科OB/OG会などの開催支援と広報告知 (4) 会員への各種情報提供サービス (5) その他
会員情報の協働連携利用	(1) 個人情報の保護に関する法律および立正大学個人情報に関する規程に基づく会員情報の適切な収集・管理・運用 (2) 新卒会員情報・既卒会員情報更新の大学・校友会・同窓会協働連携利用(学園新聞・校友会報「たちばな」の発送及び支部・学部同窓会事業・活動への会員データ提供 他) (3) その他



立正大学郵政会は、昭和34年に設立。登録会員数5,000名。卒業生とその郵政事業現元関係者で構成。



立正大学郵政会

会長●市川幹
創立●昭和34年(1959)
登録会員数●5,000人
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
電話●03(3493)6673

平成26年度立正大学郵政会収支予算 (期間:平成26年4月1日~平成27年3月31日)

科目	当初予算	前年度予算額	増減	摘要
校友会構成団体助成費	1,000,000	1,000,000	0	
預金利息	50	0	50	
会費	300,000	200,000	100,000	150名×2,000円(会費)=300,000円
繰越金	55,723	0	55,723	
収入合計	1,355,773	1,200,000	155,773	

支出の部 (単位:円)

科目	当初予算	前年度予算額	増減	摘要
定期総会	100,000	70,000	30,000	定期総会運営費50,000円 懇親会50名1,000=50,000円 (懇親会経費一部負担)
大学祭協力助成	30,000	50,000	▲20,000	臨時出張所開設
研修会	100,000	30,000	70,000	部内外講師研修謝礼等 年3回
地方支部助成	200,000	1,100,000	90,000	全国11支部、通信費、打合せ経費
会議・委員会費	100,000	90,000	10,000	役員(6名)年1回開催 地方支部代表者(11名)年1回 会場費等関係費、昼食費
旅費交通費	550,000	600,000	▲50,000	定期総会役員(6名) 定期総会支部代表者(11名) 役員会(6名)×1回 会計監査(2名)
通信費	140,000	200,000	▲60,000	地方支部内役員、会員宛
消耗品費	100,000	20,000	800,000	文具・データ保存関連
雑費	15,773	30,000	▲14,227	慶弔見舞等
予備費	20,000	0	20,000	
支出合計	1,355,773	1,200,000	155,773	

平成26年度立正大学郵政会事業計画 (期間:平成26年4月1日~平成27年3月31日)

事業	摘要
総会および会議	1. 全国定期総会開催 2. 役員会議開催 3. 地方支部代表者会議開催 4. 隣接地方支部合同会議開催
活性化および交流促進	1. 地方支部における活発な会議の運営と活性化 2. 会員相互の研鑽、交流、親睦、活動の支援 3. 各支部相互連携強化 4. 講演 研修会開催 5. 郵政グループ各社との情報交換
大学への支援・協力	1. 大学祭への参加・協力・助成 2. ホームカミングデー協力、助成
校友会参加・協力	1. 全国総会参加支援・代議員会参加支援
広報活動	1. 学園新聞・校友会報・同窓会報への記事提供 2. 郵政関係誌への記事掲載依頼、協力

平成25年度立正大学郵政会収支決算書 (期間:平成25年4月1日~平成26年3月31日)

科目	当初予算	決算額	増減
校友会構成団体助成費	1,000,000	1,000,000	0
雑収入	0	40,000	40,000
会費	200,000	312,000	112,000
利息	0	44	44
収入合計	1,200,000	1,352,044	152,044

支出の部 (単位:円)

科目	当初予算	前年度予算額	増減
定期総会	70,000	87,800	▲17,800
大学祭協力助成	50,000	32,700	17,000
研修会	30,000	75,000	▲45,000
地方支部助成	110,000	266,000	▲156,000
会議・委員会費	90,000	108,920	▲18,900
旅費交通費	600,000	518,100	81,000
通信費	200,000	88,670	111,330
消耗品費	20,000	87,173	▲67,000
雑費	30,000	31,305	▲1,305
繰越金	0	55,723	▲55,723
支出合計	1,200,000	1,352,044	▲152,044

平成25年度立正大学郵政会活動報告 (期間:平成25年4月1日~平成26年3月31日)

事業	摘要
総会および会議	1. 役員会(25.4.28) ゆーぼうと 2. 全国郵便局長総会(25.5.18~19) 新潟市 3. 役員会、地方支部代表者会議、総会(25.6.28) 立正大学会議室 4. 四国地方支部総会(25.9.4) 松山市 5. 役員会(25.9.7) 立正大学会議室 6. 近畿地方支部総会(25.9.8) 大阪市 7. 東北地方支部総会(25.10.26~27) 白石市 8. 東京、関東合同地方支部総会(25.12.18) 立正大学会議室
活性化および交流促進	1. かんぽ生命保険事業研修会 (かんぽ生命副会長栗倉章仁氏招聘講座開設) (26.2.22) 立正大学会議室
校友会参加・協力	1. 大学祭臨時出張所開設支援 大崎郵便局支援要請(25.11.2)
広報活動	1. 学園新聞への記事提供(2回) 2. 通信文化新報への記事提供(3回)(郵政情報誌)

卒業生の活動紹介

「ネパールの子供達を支援する活動に邁進」 ◆本学OG 近藤繁子さん(大学院文学研究科修士課程修了)

本学大学院文学研究科修士課程を修了された近藤繁子さんは、現在ネパールの子供たちの教育支援活動を行っています。

近藤さんは、昭和50年に立正大学大学院文学研究科修士課程を修了され、すみれ幼稚園・渋谷女子高等学校・大田区立中学校等で講師をされ、定年退職後に、日本語を教えるために北京・上海に渡り、そこでネパールから国費で留学している優秀な学生たちに出会い、ネパールに活動拠点を移すと共に、ネパールでのボランティア活動をはじめ、ネパールの子供達が教育を受ける機会を持てるよう「ネパール教育基金」の創設にご尽力されました。この「ネパール教育基金」のもと、近藤さんの献身的な活動により、絵画コンクールが開催され、カトマンズの公立・私立学校の生徒に奨学金が支給されるなどネパールの子供達の教育に対する意欲を高め、地域社会の発展推進に貢献されています。



やりたいと思う事が人と違ったとしても、恐れずにチャレンジしてほしい。

在校生へのメッセージ

学生へのアピールとしては、できないと思わず、やりたいことをみつけたら続けるのです。私はネパールに出会ってもう20年を越して82才半。自分がやりたいと思う事が人と違ってても恐れずにどんどんチャレンジして自分の可能性を見つけてください。不可能を可能にする努力を。自己の拡大には国語力を含めて語学力が最大の味方です。



貧乏は人が活動するエネルギーを作り出すビタミン剤になる。



やりたい事をみつけたら続ける。不可能を可能にする努力を。



学費を稼ぐために勉強し、奨学金を得ることが出来た。



立正大学橘会

会長 ● 出口幸祥 創立 ● 昭和39年(1964)
会員数 ● 約10,000人
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
電話 ● 03(3493)6673

立正大学(大学院会)在校生のご父母もしくは保証人
の皆様を会員とする団体です。

ご挨拶



立正大学橘会長 出口幸祥

平成26年5月24日の橘会定期総会に於いて岩淵昌之前会長の後を引き継ぎ、会長に推挙いただき、就任致しました。未熟ではございますが何卒宜しくお願いいたします。

橘会は、子供たちが有意義な学生生活を送れるように、大学と密接に連携し、保護者の立場から支援することを目的として活動しています。これまで大学や学生生活の情報保護者の皆様に提供し、皆様からの大学側への要望を伝達して参りました。また、保護者同士の情報交換や交流ができる機会とした全国各地で保護者懇談会を開催しています。この保護者懇談会は会員の皆様と大学との連携を図る上で大変重要な活動で、最も重点を置いている事業です。

今年度も6月から11月にかけて保護者懇談会を開催致します。場所は、郡山(6月1日)・熊谷キャンパス(6月15日)・静岡(6月22日)・千葉(7月6日)・盛岡(8月31日)・長野(9月7日)・新潟(9月27日)・横浜(10月5日)・福岡(10月12日)・神戸(10月18日)・広島(10月19日)・品川キャンパス(11月9日)の12会場で開催いたします。当日は大学教職員による「大学の近況」等の説明に加え、毎回同行される先生方もしくは、地元卒業生の「講演会」・「父母のための就職講座」を開催致します。特に「父母のための就職講座」ではキャリアサポートセンター協力のもと、親として

どう向き合えばよいか、協力・サポートできることは何か等、就職活動に関する動向・指導方針・就職状況を説明致します。就職・就職活動でお子さんが悩まないために、人生のアドバイザーとして就職活動の真情を知って頂きたく思います。また、個人面接の時間は学部より用意された成績・各種資料をもとに学業・学生生活について疑問、各種制度の内容等を直接先生に質問できる場になっております。軽食懇親会では同じ立正大生を持つ保護者の皆様に懇親・情報交換の場を設けております。立正大生の保護者同士が交流するまたとない機会かと存じます。保護者懇談会は、保護者と立正大学教職員が一丸となって子供の大学生活をサポートをしていくことを目的として開催しております。

基本的に、橘会は役員が中心となって運営していますが、会員の皆様一人ひとりが保護者の立場から何かできるかを考え、子供たちが希望する形で社会へ巣立って行けるように見守っていくことが重要であると考えます。今後も、厳しい社会環境の中へ順応して行かねばならない子供たちのために、橘会としても、支援し続けていきたいと思っております。様々な形で皆様が同士の情報、意見を交換し合い、積極的に、橘会へのご参加ご協力をお願い致しまして、私からの挨拶に代えさせていただきます。

平成26年度 立正大学橘会 定期総会報告

立正大学橘会常任理事 徳永隆憲

平成26年立正大学橘会父兄会改め橘会の総会は、立正大学付属中学・高等学校の移転により、大学キャンパスにふさわしい施設として改修され、新装となったスクールアメニティの粧いを備えた立正大学品川キャンパス9B23教室で開催されましたが、股賑を極めるごとき参加者で、熱気あふれる総会となりました。

総会は、柳下副会長の司会進行のもと岩淵会長より立正大学建学の精神に基づき心身共に健全な学生の育成を図るため、学びの支援として各所で保護者懇談会を開催、またさまざまな分野で活躍し、立正大学の名誉を高めた団体、個人にたいし橘会奨励賞を顕彰していることを紹介する挨拶がありました。

続いて、立正大学学園理事長である古河良昭理事長より606校の私立大学の中にあつて、本学の特性を生かし建学の精神である、1、真実を求め至誠を捧げよう。2、正義を尊び邪悪を除こう。3、和平を願い人類に尽くそう。との立正大学校歌に歌い込められた精神を、現代社会の希求する地域の担い手として、また国際的に貢献できる力量の育成こそ「立正安国論」より導いた立正大学の存在であるのではないかと諭されました。

更に、山崎和洋学長のご挨拶では、総合大学として1万人規模の学生を擁する大学は数少ない現状の中で、開校142年を迎えた本校では、硬式野球部の2部優勝、アルカス熊谷(女子ラグビー部)が女子7人制女子でのラグビー大会優勝によりオリンピック出場を目指すという快挙もあり、立正大学「ランドビジョンである「モラリスト×エキスパート」を育む「真実・正義・和平」の理念の建学の精神の息吹が現状で生きていることを感じると挨拶されました。

また、高橋英副学長より立正大学付属中学・高等学校の移転に伴う施設の改修についての報告を含めたご挨拶をいただきました。

ご挨拶の後、恒例の橘会奨励賞授与式が行なわれましたが、優秀賞に輝いた立正大学グループクラブの歌唱発表があり、歌唱力のすばらしさに魅了される一幕でした。

今回の橘会奨励賞の各賞は以下の通りでした。

※優秀賞 独立団体グループクラブ(藻原寺 主催「オラトリオ日蓮上人」再演)

※優秀賞 文化団体連合会児童文化研究部(第37回正力松太郎特別賞・児童教化功労賞)

※選考委員会特別賞 佐々木杏人(剣道部)

※選考委員会特別賞 黒古琴菜(剣道部)

さて、平成26年度定期総会は、6件の議案が提案されました。平成25年度の事業報告とそれに関する決算報告、会計監査ならびに平成26年度の事業計画、それに伴う予算案も全会一致で承認されました。続いて役員任期満了に伴う役員補充の件についても同様に承認されましたが、個人役員を終年を迎えた想いは一入のものがあつて、改めて感謝とお礼を申し上げる次第です。

平成26年度立正大学橘会予算書 (単位:円)

科目	H26年度予算額	H25年度予算額	予算差額	備考
収入の部				
1 校友会構成団体助成費	20,000,000	20,000,000	0	
2 過渡期補助費	0	5,684,440	▲5,684,440	
3 懇談会参加費	800,000	1,000,000	▲200,000	品川・熊谷懇談会参加費徴収
4 預金利息金	0	0	0	
5 雑収入	100,000	300,000	▲200,000	
6 繰越金受入	531,981	0	▲531,981	
合計	21,431,981	26,984,440	▲5,552,459	
支出の部				
1 保護者懇談会費	9,300,000	16,071,740	▲6,771,740	
2 会場費	8,800,000	13,000,000	▲4,200,000	12会場開催
3 交通費	500,000	2,201,740	▲1,701,740	橘会役員
4 保険費	0	70,000	▲70,000	
5 その他諸経費	0	800,000	▲800,000	
6 機関誌発行費	2,000,000	2,000,000	0	
7 新聞発行費	2,000,000	2,000,000	0	会報作成・印刷
8 橘会奨励賞	300,000	3,000,000	▲2,700,000	
9 福利厚生費	100,000	3,000,000	▲2,900,000	退任役員記念品
10 小計	11,700,000	18,671,740	▲6,971,740	
11 会議費	600,000	1,300,000	▲700,000	懇談会費用
12 各種会議	400,000	300,000	▲100,000	正副会長会議、常任理事理事会
13 交通費	200,000	100,000	▲100,000	
14 定例会費	800,000	1,200,000	▲400,000	役員交通費
15 各種会議	400,000	300,000	▲100,000	正副会長会議、常任理事理事会、入学式、卒業式
16 アルバイト	300,000	800,000	▲500,000	
17 人件費	1,000,000	1,500,000	▲500,000	
18 雑給	1,000,000	1,500,000	▲500,000	アルバイト
19 通信費	1,600,000	2,542,700	▲942,700	
20 切手・葉書等	400,000	1,800,000	▲1,400,000	切手・葉書・後納郵便等
21 郵送料	1,200,000	742,700	▲457,300	懇談会再案内発送、会議、懇談会資料発送等
22 事務管理費	100,000	600,000	▲500,000	
23 賃借料	100,000	600,000	▲500,000	宛名印字機、封緘機各リース料
24 事務費	5,450,000	1,020,000	▲4,430,000	
25 事務委託費	4,800,000	800,000	▲4,000,000	各種印刷物等1,680,000、プライバシー保護シール6万枚600,000、各保守料250,000、アルバム・DVD撮影・HP委託470,000、懇談会配布品作製1,800,000、事務消耗品購入費300,000、コピー機関連消耗品等270,000、銀行振込手数料等、新聞購読料
26 消耗品費	570,000	100,000	▲470,000	
27 手数料他	30,000	60,000	▲30,000	
28 図書資料費	60,000	60,000	0	
29 雑費	181,981	150,000	▲31,981	
30 小計	9,731,981	8,312,700	▲1,419,281	
31 支出合計	21,431,981	26,984,440	▲5,552,459	
32 予備費	0	0	0	
33 繰越金	0	0	0	
合計	21,431,981	26,984,440	▲5,552,459	

平成25年度立正大学橘会決算書 (単位:円)

科目	H25年度予算額	H25年度決算額	予算差額	備考
収入の部				
1 校友会構成団体助成費	20,000,000	20,000,000	0	
2 過渡期補助費	5,684,440	5,684,440	0	
3 懇談会参加費	1,000,000	1,340,000	▲340,000	@2,000×670名
4 父兄会費	0	450,000	▲450,000	@50,000×9名
5 預金利息金	0	2,187	▲2,187	
6 雑収入	300,000	86,000	▲214,000	奨励会懇親会費等
7 繰越金受入	0	0	0	
合計	26,984,440	27,562,627	▲578,187	
支出の部				
1 父兄懇談会費	16,071,740	8,360,945	▲7,710,795	
2 会場費	13,000,000	7,483,300	▲5,516,700	14会場開催
3 交通費	2,201,740	732,480	▲1,469,260	橘会役員
4 保険費	70,000	0	▲70,000	
5 その他諸経費	800,000	145,165	▲654,835	懇談会出席者配布品、連絡用プリペイド携帯、デジタルフォトアルバム
6 機関誌発行費	2,000,000	1,439,340	▲560,660	
7 新聞発行費	2,000,000	1,439,340	▲560,660	会報作成・印刷
8 橘会奨励賞	300,000	335,569	▲35,569	副賞260,000、橋31,469、結果発表チラシ44,100
9 福利厚生費	300,000	28,315	▲271,685	退任役員記念品
10 小計	18,671,740	10,164,169	▲8,507,571	
11 会議費	1,300,000	529,182	▲770,818	懇談会費用
12 各種会議	300,000	357,610	▲57,610	正副・常任理事・理事会
13 交通費	1,000,000	171,572	▲828,428	
14 定例会費	1,200,000	359,920	▲840,080	役員交通費
15 各種会議	300,000	172,280	▲127,720	正副・常任理事・理事会、入学式、卒業式
16 アルバイト	800,000	132,160	▲667,840	
17 人件費	1,000,000	55,480	▲944,520	
18 雑給	1,500,000	863,410	▲636,590	アルバイト
19 通信費	1,500,000	863,410	▲636,590	
20 切手・葉書等	2,542,700	1,504,278	▲1,038,422	
21 郵送料	1,800,000	374,773	▲1,425,227	切手・葉書・後納郵便・電話等
22 事務管理費	742,700	1,129,505	▲386,805	懇談会案内発送10,000,000、会議・懇談会資料発送等129,505
23 賃借料	600,000	549,664	▲50,336	
24 事務費	1,020,000	13,060,023	▲12,040,023	パソコン、宛名印字機、封緘機各リース料
25 事務委託費	800,000	12,567,488	▲11,767,488	各種印刷物等1,805,751、アルバム・DVD撮影・HP委託480,800、各保守料232,050、橋50周年記念マークアップ作製3,388,000、懇談会配布品作製1,799,962、フォト40台4,200,000、懇談会・入学式(スター)ポスター制作費680,925、事務消耗品購入費103,662、ノートパソコン購入費140,700、コピー機関連消耗品等174,383
26 消耗品費	100,000	418,735	▲318,735	
27 手数料他	60,000	26,700	▲33,300	銀行振込手数料等
28 図書資料費	60,000	47,100	▲12,900	新聞購読料
29 雑費	150,000	0	▲150,000	
30 小計	8,312,700	16,866,477	▲8,553,777	
31 支出合計	26,984,440	27,030,646	▲46,206	
32 予備費	0	0	0	
33 繰越金	0	531,981	▲531,981	
合計	26,984,440	27,562,627	▲578,187	

平成25年度立正大学橘会事業報告 (単位:円)

- 平成25年度に実施した事業は次のとおりである。
- ◆会務関係事業
 - (1) 定期総会平成25年5月18日(土)に大崎校舎(現品川キャンパス)にて開催。決算・予算、事業関係、会則、役員選出等の諸議案を原案通り承認可決した。
 - (2) 正副会長会議9回、常任理事会6回、理事会1回、会計監査2回の開催。
 - (3) 父兄懇談会の開催及び運営。

期日	開催地	対象地域
6月2日(日)	那覇市	沖縄県
6月16日(日)	熊谷市(熊谷キャンパス)	学部別全都道府県/法学部・社会福祉学部・地球環境科学部
6月30日(日)	岡山市	岡山県・兵庫県・鳥取県・島根県・広島県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県
7月6日(日)	横浜市	神奈川県・静岡県・千葉県
7月7日(日)	静岡市	静岡県・神奈川県・山梨県・岐阜県・愛知県
7月21日(日)	宇都宮市	栃木県・福島県・茨城県・群馬県
8月4日(土)	長岡市	新潟県・富山県・石川県・長野県・群馬県
9月1日(日)	大阪市	大阪府・兵庫県・京都府・岡山県・奈良県・和歌山県・滋賀県・三重県・富山県・福井県
9月7日(日)	仙台市	宮城県・岩手県・山形県・福島県
9月28日(土)	山形市	山形県・秋田県・福島県・新潟県
10月6日(日)	札幌市	北海道・青森県
10月13日(日)	福岡市	福岡県・熊本県・長崎県・宮崎県・大分県・佐賀県・鹿児島県・山口県
10月27日(日)	千葉市	千葉県・茨城県
11月10日(日)	東京都(品川キャンパス)	学部別全都道府県/仏教学部・文学部・経済学部・経営学部・法学部・心理学部

平成26年度立正大学橘会事業計画 (単位:円)

- 平成26年度に実施を予定している主な事業は次のとおりである。
- ◆会務関係事業
 - (1) 定期総会、常任理事会、理事会等諸会議及び各種会合の開催。
 - (2) 保護者懇談会の開催及び運営。

期日	開催地	対象地域
6月1日(日)	郡山市	福島県・山形県・宮城県・栃木県
6月15日(日)	熊谷市(熊谷キャンパス)	学部別全都道府県/法学部・社会福祉学部・地球環境科学部
6月22日(日)	静岡市	静岡県・神奈川県・山梨県・岐阜県・愛知県
7月6日(日)	千葉市	千葉県・茨城県
8月31日(日)	盛岡市	岩手県・青森県・宮城県・秋田県
9月7日(日)	長野市	長野県・新潟県・山梨県・群馬県・静岡県
9月27日(土)	新潟市	新潟県・富山県・石川県・長野県・群馬県
10月5日(日)	横浜市	神奈川県・静岡県・千葉県
10月12日(日)	福岡市	福岡県・熊本県・長崎県・宮崎県・大分県・佐賀県・鹿児島県・沖縄県
10月18日(土)	神戸市	兵庫県・滋賀県・大阪府・京都府・奈良県・福井県・三重県・和歌山県・石川県
10月19日(日)	広島市	広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県
11月9日(日)	東京都(品川キャンパス)	学部別全都道府県/仏教学部・文学部・経済学部・経営学部・法学部・心理学部

 - (3) 「橘だより」年4回発行。
 - (4) 保護者懇談会用アルバムの撮影・作製。
 - (5) 立正大学橘会奨励賞(第19回)の実施。
 - (7) 星霜祭、橘花祭ヘント各20台贈呈。
 - (8) 橘会50周年記念マークアップ3本セット全学生へ贈呈。



第18回 橋会 奨励賞

受賞者の声

【平成26年度 橋会保護者懇談会開催日程】 ※9月27日(土)新潟会場は、同窓会新潟支部総会と合同開催

Table with columns: 期日, 開催地, 対象地域, 会場, 住所. Lists dates and locations for the 26th annual Kashiwa Association Parent Meeting.

5月24日(土)に品川キャンパスで開催しました平成26年度立正大学橋会定期総会において、第18回立正大学橋会奨励賞授与式を行いました。

優秀賞

独立団体 立正大学テニスクラブ部長 佐々木素詞 この度は橋会奨励賞の優秀賞という素晴らしい賞を頂くことができ、大変

この受賞を契機に今後もより一層日々の練習に励み、立正大学に貢献していきたいと思えます。誠にありがとうございました。



光栄に思っております。関係の方々には心から御礼を申し上げます。

昨年平成25年10月6日千葉県茂原市民会館、10月19日すみだトリフォニーホールにおいて「オラトリオ日蓮聖人」に出演しました。

優秀賞

文化団体連合会 児童文化研究部部長

高橋梨句



この度は数ある文化団体の中から児童文化研究部が橋会奨励賞の優秀賞を選出させていただきました。

私たちは台本も手作りして人形劇を作っているため、作成過程に苦労します。そのため「きっと誰かがやってくれるだろう」と考えるのではなく、部員一人ひとりが自らの役意識を持つことで以前よりも創作活動や公演運営がうまく進むようになりました。

のお手伝いに参加させていただきました。寄席では落語、バイオリン漫談、紙切りを見させていただき表現方法は異なりますが、お客さんに喜んでもらうことを目的とした同じ表現者として刺激を受けました。

選考委員会特別賞

佐々木杏人(仏教学部4年)



この度は、橋会奨励賞において、選考委員会特別賞をいただき、誠にありがとうございました。

私が所属する剣道部では週6回の稽古が行われています。しかしながら、学業との両立を図るため、決して長い時間を稽古に費やすことができません。

選考委員会特別賞

黒古琴菜(社会福祉学部2年)



この度、立正大学橋会奨励賞において、選考委員会特別賞を頂きました。

稽古においては授業が終わってからの部活動の他に、学外の道場へ通って稽古をしています。単に稽古をするだけでなく、その日の稽古で自分が気になった事や、試合の結果などノートに書き残し、次に繋げられるように活用しています。

校友の広場 NEWS&TOPICS

イベント情報

◆同窓会支部総会開催案内

【栃木県】

◆支部長：大川清孝氏 (S42 仏宗卒)

◆7月27日(日) 宇都宮市：宇都宮東武ホテルグランデ

◆講演会・総会 事務局長：齋藤順昭氏

☎ 028 (622) 3140

◆学部同窓会開催案内

【文学部】日本文化散策行事

◆会長：西岡勇治氏 (S55 修士社会修了)

◆9月13日(土) 雨天決行 ◆10:00 集合：JR総武線「千駄ヶ谷駅」改札口 ◆15:00 解散予定：JR新宿駅東口 ◆会費(昼食代) 2,500円 ◆文学部同窓会長西岡勇治氏 ☎ 03 (3733) 5241

【社会福祉学部】

◆会長：黒米聖氏 (H18 社福人間卒)

平成27年で社会福祉学部設立20周年となります。設立20周年に伴い、社会福祉学部大同窓会(名称仮)の開催を予定しております。詳細は今後発表しますのでご期待ください。 社会福祉学部同窓会理事一同

開催レポート

◆同窓会支部総会開催報告

【東京都】*経済学部同窓会と合同



◆支部長：手嶋真人氏 (S36 経済卒)

◆5月17日(土) 五反田 ゆうほうと

◆参加者：21名

【福岡県】

◆支部長：二宮実氏 (S47 文地卒)

◆5月17日(土) ホテルセントラーザ博多

【神奈川県】

◆支部長：小櫃健一氏 (S31 修士社会修了)

◆5月24日(土) JR新新田駅西口「パレド・バルブ」

【福井県】

◆支部長：森恵司氏 (S47 仏宗卒)

◆5月31日(土) ニューサンピア敦賀

◆講演会：「敦賀の歴史・文化財」

中野拓郎氏(敦賀市教育委員会文化振興課係長)

【宮城県】

立正大学同窓会宮城県支部総会



◆支部長：星紀之氏 (S41 経済卒)

◆6月7日(土)

仙台市：ホテル白萩

◆参加者：12名

【埼玉県】

◆支部長：市川幹氏 (S38 経済卒)

◆6月7日(土) 草加市：草加市谷塚南ミニコミュニティ

センター

◆講演会：「自治体のアウトソーシングについて」
谷口郁子氏(「住民と自治」編集部勤務・立正大学文学部卒業)

【静岡県】

◆支部長：石上良秀氏 (S47 仏宗卒)

◆6月14日(土) 静岡市葵区：茄子の花「無庵」

◆講演会：「古事記～出雲の神と出雲神話～」

立正大学文学部教授 三浦佑之氏

【山梨県】

◆支部長：山田厚氏 (S50 文史卒)

◆6月21日(土) 甲府市：ベルクラシック甲府

◆講演会：「富士山の考古学」

立正大学名誉教授 坂詰秀一氏

◆同窓会学部総会

【経済学部総会】*東京都支部との合同開催

◆学部長：三澤金一郎氏 (S38 経済卒)

◆5月17日(土) 五反田ゆうほうと

◆参加者：21名

【経営学部同窓会】

◆学部長：吉浜邦夫氏 (S47 経営卒)

◆5月17日(土) 品川キャンパス第5会議室

◆参加者：24名

【文学部同窓会】

◆学部長：西岡勇治氏 (S55 修士社会修了)

◆5月31日(土) 品川キャンパス第7会議室

◆講演会：多田そうべい氏(元：殿さまキングスメンバー・骨髄バンク支援NPO法人「命のつどい」理事長)

【仏教学部同窓会】

◆学部長：北原輝信氏 (S61 仏宗卒)

◆6月27日(金) 熊谷市：キングアンバサダーホテル熊谷

◆同窓会東京都支部・経済学部同窓会合同研修会



4月26日(土)に東京都支部同窓会と経済学部同窓会合同による『春の東京散策』と称した研修会を開催いたしました。

当日は38名の方にご参加をいただき、北千住駅に集合し、貸し切りの屋形船にて水上から春の東京を楽しみました。

卒業生の活動情報

◆古川史典さん(文学部卒業)

卒業生の古川史典さん(S46年文学部地理学科卒)がヒマラヤ・チェルシー最東峰登頂とトレッキング遠征されました。

古川さんが所属されている公益社団法人



日本山岳会埼玉支部の創立5周年記念として、ヒマラヤ・チェルシー最東峰登頂とトレッキング遠征に隊長として



参加され、5月20日に古川さんと登山隊マネージャーの高橋努氏とトレッキング隊の松本敏夫氏が帰国報告に来校されました。

BOOK & WORK 卒業生の書籍などの紹介



『誰も知らないプロ野球「審判」というお仕事』

篠宮慎一

(昭和57年仏教学部仏教学科卒業
元 社団法人日本野球機構セントラル野球連盟審判員)

株式会社徳間書店

お問合せ(販売) ☎ 048 (451) 5960

定価 650円+税

1997年にプロ野球審判員を引退したのちも、公益社団法人全国野球振興会審判技術委員をはじめ、幅広く活躍されている篠宮氏。そんな氏が審判員の知られざる日常を描いた本書は「これを読めば、野球がもっと楽しくなっちゃう!」。(B面掲載の「立正人」インタビュー記事もぜひご覧ください)。



日蓮宗北米開教百周年記念出版

『米国の地政学上よりみたる法華経成立の断面』

木立随学

(立正大学仏教学部宗学科卒業
米国ルイス&クラーク名誉教授)

山喜房佛書林

お問合せ(販売) ☎ 03 (3811) 5361

定価 7,500円+税

木立随学名誉教授は、このたび、日蓮宗北米開教百周年記念出版として『米国の地政学上よりみたる法華経成立の断面』(289頁)を本郷赤門前の山喜房佛書林より刊行した。氏は立正大学仏教学部宗学科卒業の翌年、1957年3月、米国開教師として渡米。マルトノマ大学教養学部を卒業後、1963年、米国西海岸の名門校、オレゴン州ポートランドのルイス&クラーク大学、外国文学語日本語学科創設主任教授に就任。ウラメット大、リンフェルド大、ポートランド・コミュニティ大等の日本語学科創設にかかわり、各大学の客員教授をつとめた。その間、開教師として活躍。現在、「みのり会」主管。奥方は市川市の本山・弘法寺貫主の長女で、「草月流」師範として活躍している。

本書は『米国の地政学研究を契機とする法華経』成立の歴史的背景の考究である。米国社会は、大正年代にも日本研究に関心を寄せたが、第二次大戦後、なぜ「ジャパン・アズ・No.1」であるのかという関心からアジア研究・日本研究が盛んとなった。日本から東京大学の中村元・宮本正尊教授らが招聘されたのにも、そのような背景がある。木立師は米国在任の教授として、これら学者から刺激を受け、関連の考究をつづけた。

本書の第1章は、漢訳『法華経』のルーツをシルクロード・中国の歴史に尋ね、第2章で、それらの詳細を追究する。第3章は、漢訳『正法華経』『妙法蓮華経』『添品妙法蓮華経』に三種の漢訳教典にみられる黄金七宝世界の背景を米国地政学研究の成果から考究。第4章は、古代シルクロード・タクラマカン砂漠の人々、第5章は、東西文明融合の黄金社会基盤に『法華経』成立の基盤を探る。第6章から第10章は以上の延長上に『法華経』伝播の諸相を考究する。同窓の一人として、米国で続けた考究に敬意を表したい。

(文：立正大学名誉教授 渡邊寶陽)

教職員訃報

【平成26年3月～平成26年5月】

名誉教授 中村 禎里氏 (平成26年3月13日 逝去)

元文学部教授 大塚 巖氏 (平成26年3月22日 逝去)

元付属中高職員 山崎 信之氏 (平成26年5月23日 逝去)

謹んで哀悼の意を表します

INFORMATION

2014年度校友会費B (卒業生・現元教職員等会費)のご案内

昨年度は校友会費B(3,000円)に約1,785件・535万円のご協力を賜りました。皆様のご協力に深く御礼申し上げます。

ご協力頂きました会費は校友会奨学金、入学記念品、卒業記念品、課外活動助成金等の在校生支援事業および卒業生交流会費用や会報等発送に関する校友会運営費に充当させていただきます。

同封の専用振込用紙にてゆうちょ銀行よりお振込くださいますようお願い申し上げます。



熊谷キャンパスアカデミックキューブ

校友会会員情報について

ご登録を頂いております、お名前・ご住所・電話番号・勤務先等にご変更および訂正がございましたら下記までご連絡下さい。

変更届の内容

- ◆氏名 ◆ご住所 ◆電話番号
- ◆メールアドレス ◆勤務先または職業
- ◆校友会会員番号(校友会報・学園新聞宛名ラベルの番号)

お問い合わせ・お届け先

立正大学学長室校友課

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

☎ 03 (3493) 6673 FAX: 03 (3493) 9068

Email: alu@ris.ac.jp

専用用紙は立正大学校友会ホームページ

(<http://alumni.rissho.jp/>) からダウンロードできます。

お知らせください

◆卒業生の活動情報やクラブ・サークルOB/OG会開催、卒業生のお店紹介等卒業生の活動に関する情報がございましたら上記お問い合わせまでご連絡ください。